

地域看護学演習

[演習] 1年・2年 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》佐藤美由紀[sato_m@hoku-iryu-u.ac.jp]

【概要】

本演習では、地域看護学領域における地域住民の健康増進およびQOLの向上、公衆衛生看護の発展に寄与する学生各自の研究テーマを基盤として、文献検索、クリティーク、文献レビューを体系的に行い、研究課題および研究目的を明確化する。さらに、地域の健康課題を科学的に捉える視点を養い、適切な研究デザイン、データ収集方法、倫理的配慮など、研究遂行に必要な方法論を学ぶ。これらのプロセスを通して、論理的かつ実践的な研究計画書を構築する能力を育成する。

本演習の学びを通じて、地域に暮らす人々の健康増進、地域社会が抱える健康課題の解決、看護技術や支援モデルの開発に向けて、EBP（根拠に基づいた実践）を推進するための基礎的研究能力と批判的思考力を培うことを目指す。

【学修目標】

1. 地域看護学領域の研究テーマに関連する文献を適切に検索・収集できる。
2. 主要文献のクリティークを行い、研究の質・妥当性・限界を評価できる。
3. 文献レビューを通じて研究課題・研究目的を論理的に明確化できる。
4. 研究デザイン、データ収集方法、分析方法、倫理的配慮について理解し、適切に選択できる。
5. 地域看護学の視点を踏まえた研究計画書を作成できる。
6. EBP（根拠に基づいた実践）を推進するための基礎的研究能力を身につける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	地域看護学研究の特徴と演習の進め方。 エビデンス・ベースド・プラクティスの基盤となる公衆衛生看護における研究について学ぶ。	佐藤
2	研究課題の明確化と研究背景の整理	研究課題に関する社会背景について発表し、討論する。	佐藤
3 }	文献検討	研究テーマに関連した先行研究のクリティーク内容を発表し、討論する。	佐藤
4			
5	研究動向の整理	研究課題に関連した国内外の研究動向について発表し、討論する。	佐藤
6 }	研究課題の明確化、研究目的の設定、研究枠組みの構築	研究課題、研究目的、研究枠組みについて発表し、討論する。	佐藤
7			
8 }	研究デザインの選択	研究デザイン、研究対象者と募集方法、データ収集方法、分析方法について発表し、討論する。	佐藤
9	研究対象者と募集方法の選択		
	データ収集方法と分析方法の選択		
10 }	データ収集方法の検討	質問紙案、インタビューガイド案について発表し、討論する。	佐藤
11			
12	倫理的配慮の検討	必要な倫理的配慮について発表し、討論する。	佐藤
13 }	研究計画書の作成	作成した研究計画書のドラフトを発表し、相互レビューする。	佐藤
14			
15	研究計画書の発表と討議	作成した研究計画書を発表し、各自の研究結果が地域看護活動のエビデンスとして活用されるための方法について検討する。	佐藤

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献検討の内容 (10%)、研究計画書の内容 (30%)、授業の準備状況 (20%)、プレゼンテーション (20%)、討論への参加 (20%)

【教科書】

適宜資料を配布する。

【参考書】

佐藤郁哉：リサーチ・クエッションとは何か？．筑摩書房．2024

山川みやえ他著：研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク．日本看護協会出版会．2019

横山美江編著：よくわかる地域看護研究の進め方・まとめ方 保健事業の企画立案から評価への効果的な活用をめざして．医歯薬出版株式会社．2010

【学修の準備】

実習や実践の中からとらえた疑問、問題意識（クリティカルクエッション）を研究のノートに記述しておくこと。関連の文献を精読し、簡潔にまとめておくこと。各回のテーマに関して、調べて発表資料を作成すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。